

年 組 () 名前

サイン



(2022年1月18日 読売新聞夕刊より)

運動不足 走って解消

出産を控えた農耕馬の運動不足を解消する「馬追い」が、北海道音更町の家畜改良センター十勝牧場で始まった—写真、松本拓也撮影—。体重約1トンの馬が白い息を

吐きながら、雪原を駆け抜けている。

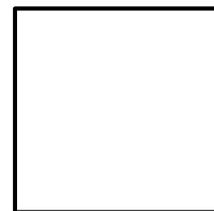
十勝牧場では約160頭を飼育し、出産は2月中旬から4月末まで続くという。公開は2月25日までの平日朝。新型コロナウイルスの感染状況によって変更もある。



動画

◆冬の運動不足を解消するため、雪の中を馬たちが走る「馬追い」が、北海道の牧場で始まりました。

【1】上の写真の馬の体重はどれくらいありますか。数字で答えましょう。



トン

【2】馬たちの運動不足を解消するために行われていることは、何でしょうか。



※先生やおうちの人と
いっしょに読みましょう。

【発展問題】あなたが好きな動物は、何ですか。その理由も裏に書きましょう。

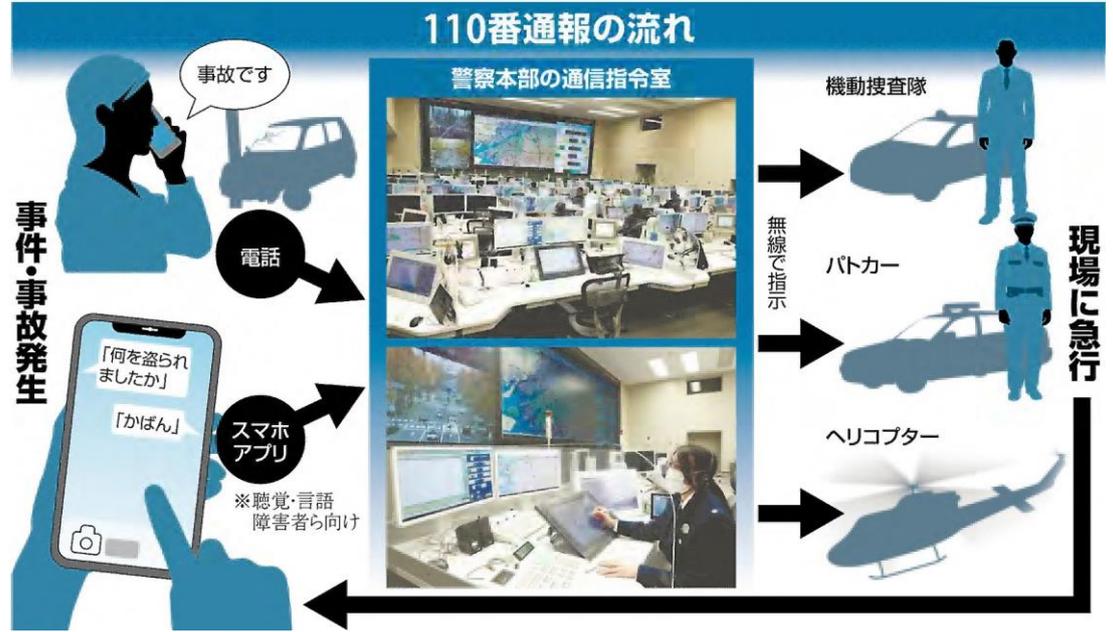
年 組 () 名前

サイン

◆警察には年間800万件を超える110番通報が寄せられています。意外と知らない110番について学びましょう。

「事件ですか。事故ですか」。110番すると、各地の警察本部の通信指令室につながり、担当者から聞かれる。指令室は通報内容やスマホから受信した全球測位システム(GPS)の情報を基に場所を特定。無線でパトカーやヘリコプターなどに指示を出し、警察官が急行する。到着にかかる時間は「レスポンス・タイム」と呼ばれ、2020年の全国平均は7分57秒だった。

今や110番は「通話」に限らない。聴覚・言語障害者向けにスマホのアプリを使った通報が19年から全国で可能になった。短文でやり取りするチャット



110番知ってるつもり!?

ト機能を活用する。通報者が撮影した現場映像をスマホ経由で送信してもらうシステムの導入も進む。20年から始めた兵庫県警では送信を受けた車のナンバー画像から傷害事件の解決につなげた。

通報内容は世相を映す。20年は通報受理件数は約840万件。前年より7%減った。原因は新型コロナウイルスだ。緊急事態

宣言に伴う外出自粛などで、事件や交通に関する通報が13%減少していた。

しかし、緊急の対応を要しない内容の通報は横ばいで、全体の2割を占めた。「マスクをしない人がいる」「宣言中なのに深夜まで飲食店が営業している」などが目立ち、在宅勤務の人からは騒音苦情も寄せられた。

(2022年1月10日 読売新聞朝刊より)

「お金がないのでパトカーに乗せて」「家のゴミブリをどうにかして」「携帯電話が壊れた」。コロナ以外でも110番にそぐわない通報は多い。警察は事件・事故の対応に支障が出る恐れがあるとして、要望や相談など緊急性のない場合、全国共通の短縮ダイヤル「#9110」の活用を呼びかけている。

【1】110番通報からどのような流れで、現場に警察官が到着しますか。また、到着するまでの全国平均時間を書きましょう。

通報 → () → 警官が到着

【2】聴覚・言語障害者向けの110番は何を活用しますか。

【発展問題】海外では、日本と同じ110番を使っている国もあれば、違う番号の国もあります。できるだけたくさん調べて裏に書きましょう。

【3】緊急性のない要望や相談の場合、警察が活用を呼びかけているダイヤルは何ですか。

年 組 () 名前

サイン

防災教育 次代へつなぐ

阪神大震災27年

語り部 両親亡くした男性

阪神大震災の被災地は17日、静かに鎮魂の朝を迎えた。大切な存在を失った人、震災の教訓を次世代に語り継ぐ人たちは、それぞれの誓いを胸に追悼の場を訪れ、思いを新たにしていた。
△本文記事1面▽



◆阪神大震災の発生から27年がたちました。震災を体験した人々はそれぞれの誓いを胸に、鎮魂の朝を迎えました。

【1】山下さんはなぜ「自身の体験を伝えよう」と思ったのでしょうか。理由を2つ書きましょう。

銘板の前で手を合わせる山下准史さん

神戸市東灘区の山下准史さん(60)は17日朝、同市中央区の東遊園地に足を運び、震災で亡くなった両親の名が刻まれた銘板に手を合わせて、語りかけた。「今年も来たぞ。とうとう、おやじの年齢に追いついたわ。もうすぐ定年やけど、この先も頑張って生きていくからな」市内の小学校で教べんととり、現在は市教育委員会の教育次長を務める。20年近く子どもや若い教員に自身の体験を伝えてきたが、今春で定年となり、語る活動はひと区切りを迎える。

【2】「防災教育を一生懸命やってほしい」という言葉には、山下さんのどのような思いが込められていますでしょうか。

あの日、山下さんは東灘区の自宅マンションで、激しい揺れに襲われた。マンションは倒壊を免れたが、近くの実家に駆けつけるのと、2階建ての1階が潰れていた。がれきの中にいた父・金宏さん(当時60歳)は、すでに息がなかった。母・美美子さん(同58歳)は助かったが、体調を崩して約5か月後に亡くなり、災害関連死とされた。

「そばにいれば、死なずに済んだのでは」と自分を責めた。人に話すことなど考えられなかった。神戸にいればつらい記憶がよみがえる。海外日本入学校への教員派遣に応募し、1999年からは真剣なまなざしと、「僕たちが助けなれど」と募金活動を始め、16年に市教委に異動後は、話す相手が震災を知らない若い教員になった。「私の両親は、この家の1階で寝ていました」。今月5日、市内で開かれた市教委の新人教員研修会で、山下さんは倒壊した実家の写真を見せ、時折声を震わせながら「言葉をつないだ」「また来週」と言っている。来なかった子どももいる。皆さんの大切な教え子や家族を、同じ目に遭わせたらあかんです」話を聞いた川畑悠歩さん(25)は「震災を『自分のこと』と考える大切さを教わった。自分なりの方法で、子どもたちに伝えたい」と力を込めた。

(2022年1月17日 読売新聞夕刊より)

【3】阪神大震災について調べ、左の表の空欄を埋めましょう。

発生日時	
震源地	
最大震度	
マグニチュード	
死者(災害関連死含む)	

年 組 () 名前

サイン

◆生物の行動変化と、その日付を調べて記録する「生物季節観測」を継続するため、ボランティアが活躍しています。

季節の生物

「草の根」観測

気象庁が約70年間続けたウグイスの初鳴き、ツバキの開花といった「生物季節観測」が、2021年から大幅に縮小された。貴重なデータを絶やすまいと、国立環境研究所（国環研、茨城県つくば市）や気象予報士の有志らが立ち上がり、観測を継続している。

気象庁縮小

民間で継続

生物季節観測は1953年に始まった。全国各地の気象台や測候所で、植物の開花日や、鳥や昆虫などが初めて観測されたり、鳴いたりした日などを記録。年ごとの変化や地域差を調べ、全国の季節の移り変わりをとらえる指標にしてきた。

しかし、都市部で生物が見つけにくくなるなど年々観測が難しくなり、気象庁は21年1月から、調査対象を57種類からサクラやカエデなど6種類に減らした。これに対して関連学会などから継続を求める声が上がっており、気象庁と環境省、国環研が協議。民間の協力で観測を続けることが決まり、国環研は21年6月から62種類の観測を始めた。全国のボランティア約240人が調査を続けている。



植物の開花状況を観測する調査員（茨城県つくば市の国立環境研究所）＝辻本特別研究員提供

国環研とは別に、千葉県在住の気象予報士の岩槻秀明さん(39)は「長年のデータの蓄積に穴があいてしまふ」と、日本気象予報士会の有志数十人で20年末から観測を開始。ツイッターで呼び掛け、多くの観測データが寄せられ始めた。岩槻さんは「気象庁の調査より観測範囲が広がってきた」と話す。生物多様性の変化や気候変動の影響を今まで以上に細かくとらえられるという。データは気象庁に提供し、地域おこしへの活用も検討中だ。

(2022年1月5日
読売新聞夕刊より)

【1】「生物季節観測」が行われてきた目的と、今後の私たちの暮らしにも重要だと思われる理由をそれぞれ抜き出し、() に書きましょう。

- ▽目的:() とするため
- ▽理由:() ことが重要だから

【2】気象庁が観測を継続している生物の行動変化を記事から2つ挙げ、その行動が告げる季節を書きましょう。

生物の行動変化	季節

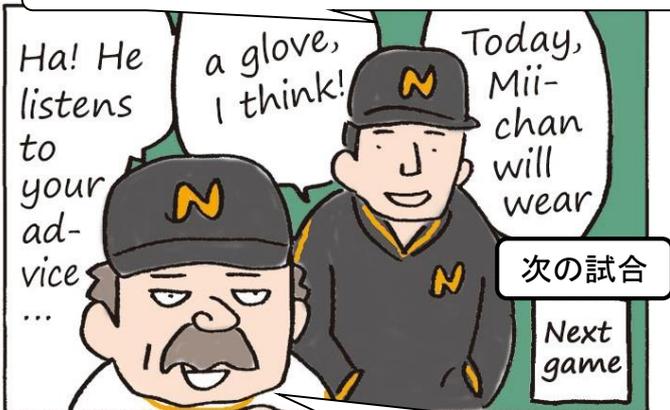
【発展問題】気象庁が調査対象から外した生物の行動変化と季節を調べ、表に書きましょう。また、その生物の観測が難しくなった原因も考えましょう。



年 組 () 名前

サイン

今日はミーちゃん、グローブをつけると思いますよ！



はっ、君のアドバイスは聞くんだな...



ミーちゃん、より大きグラブをつけたからって...



もっと速く投げられるわけではないんだよ!!



彼に何を教えたんだ？



The Japan News



◆練習で、グローブをつけると球が速くなると
わかったミー太郎ですが、本番ではグラブ
が大きすぎて大失敗。

just because ~

~だからといって

後ろに「it doesn't mean ~」(～とは限らない)をつけて、よく使います。単独では「ただ何となく」という意味になります。

★あわせて覚えよう★

・it doesn't mean ~

～とは限らない

・No reason.

何となく(特に理由がない)

単語帳

teach: 教える

★なぞってみよう★

just because

it doesn't mean